

学校紹介 新聞

五霞町立 五霞中学校



- ◆校長 小林 聖子
- ◆生徒数 166人
- ◆創立 1947年
- ◆住所 五霞町元栗橋953



あいさつ運動で笑顔に

私たち五霞中学校生徒会本部の取り組みは主に二つあります。一つ目は「朝のあいさつ運動」です。あいさつをすることで気持ちよく1日をスタートしてほしいと思い、生徒会で話し合って年間を通して計画的に実施しています。継続していくことで、友達との会話のきっかけになったり、相手に対して思いやりの気持ちをもつことができるようになったりと、あいさつの大切さに気付くことができるようになりました。

二つ目は文化祭にあたる「かすみ祭」の企画や運営です。「かすみ祭」は有志発表が中心です。ダンスやお笑い、けん玉などの普段学校生活では見られない特技を披露する場です。その場がみんなにとって楽しく充実した場になるように、生徒会企画を考えたり、全体を運営したりしています。これらの活動を通して、笑顔の輪を広げ、楽しく過ごしやすい五霞中学校にしていきたいです。(生徒会本部)



こんな学校です!

みんなで花いっぱい

五霞中学校は、茨城県の西南端に位置し、四方を川に囲まれた水と緑豊かな町にあり、五霞町でただ一つの中学校です。生徒数は166人の小規模校のため、学年の壁を越えて全校生徒が仲良く学校生活を送っています。

五霞中学校の一番の自慢は、生徒、先生、保護者、地域の方みんなで取り組んでいる「花いっぱいの学校」です。土づくり、苗植え、水やりや除草作業などみんなで協力して取り組んでいます。暑い日の水やりや除草作業は大変ですが、きれいな花を咲かせた花壇を見て毎日登校することができてうれしいです。

また、毎年全国花のまちづくりコンクールに応募し、2023年度は、学校部門193件の中から2番目にあたる「優秀賞」を受賞しました。来年度は小学校が統合して中学校の隣に五霞小学校ができます。小学校とも一緒に花いっぱい楽しい学校にしていきたいです。(環境整備委員長 長島龍心)



防災教育

自助・共助意識高める

本校では、防災に対する意識を高め、家族や地域の方々と協力して状況に応じて必要な行動がとれる力を身に付けるために、地域と学校が連携した防災教育を2020年度から実施しています。23年度は、防災教育講演会を開催し、利根川上流河川事務所防災対策課の方を講師としてお招きし「洪水から身を守るために」と題して講演していただきました。

その後、町生活安全課や防災士、日本赤十字社の方々を講師としてお招きし、1年生は授業参観で「親子でマイ・タイムラインづくり」、2年生は「逃げ地図づくり」、3年生は「避難所設営体験・救急法」を実施しました。これからも地域の方々と連携して防災に関する知識技能の習得を図り、自助・共助の意識を高めていきたいと考えております。(保健主事 潮田好弘)



地域との交流

道の駅で実践販売



町役場産業課は、五霞町子どもたちに地元「五霞町」をフィールドとした体験活動を通して、町への郷土愛や挑戦する力を育ててほしいという思いで、地域の方々の協力のもと、「ごっこやってみよう!プロジェクト」を実施しています。

2年生は「道の駅ごか」で販売している商品で自分たちで販売する体験活動を行いました。製造会社や農作物の生産者のもとに訪問し、作り手の思いや商品の製造工程などをヒアリング。その後、商品のPR方法などを班でまとめ、自分たちならばどのように販売するかを対話し、まとめます。そして、班で考えた売り方やポップを作り「道の駅ごか」で実践販売に挑戦です。体験を通して、成功や失敗を経験し、挑戦することの大切さや五霞町の魅力に少しでも気づいてくれたらうれしいです。(五霞町産業課 尾白拓也)

次回は3月6日 県立北茨城特別支援学校です

日ごろの新聞活用に問題はありませんか?
記事や写真は著作物です。

著作権法で保護されています。ご使用には事前申請が必要です。

新聞紙面をコピーまたはスキャンして職場での閲覧や配布、メール送信

新聞紙面を写真撮影してインターネットに転載

新聞記事や写真を営業資料やチラシ、パンフレットなどに使用

新聞の著作権について

学校の授業など教育目的の利用について

ご使用の場合は事前申請をお願いします(原則有料)。お問い合わせ 茨城新聞社編集部 ☎029-239-3020

新聞著作権協議会 <https://www.ccn.jp/>

日本新聞協会 <https://www.pressnet.or.jp/>

NIE 教育に新聞を「学校における新聞の二次利用」 <https://nie.jp/teacher/copyright/>